



PRESS RELEASE

平成 17 年 7 月 8 日
ジャパン ケーブルキャスト株式会社

**(株)飯田ケーブルテレビ、共同ヘッドエンドを構築し、
JC-HITS 利用によるデジタル化を決定！**

～ 多様化する自主放送、双方向アプリケーションなど、将来展開を見据えた効率的なデジタル化を図ります。～

株式会社飯田ケーブルテレビ(以下、ictv、本社所在地:長野県飯田市、代表取締役:塩澤 昭氏)および株式会社チャンネル・ユー(以下、チャンネル YOU、本社所在地:長野県下伊那郡松川町、代表取締役:竜口文昭氏)は共同ヘッドエンドを ictv に構築し、ジャパン ケーブルキャスト株式会社(以下、ケーブルキャスト、本社:東京都中央区、代表取締役社長:藪下 憲一)が提供するケーブルテレビ局向けデジタル化ソリューションサービス「JC-HITS」(ジェイシー・ヒッツ)を利用して、CS 多チャンネルサービスのデジタル化を行うことを決定いたしましたのでお知らせいたします。

ictv では JC-HITS を全面的に利用して CS 多チャンネル放送サービスのデジタル化を行うことを決定し、平成 17 年秋を目処に PPV(ペイ・パー・ビュー)サービスを含めたデジタル多チャンネルサービス展開を図ります。ictv に隣接するチャンネル YOU も、単独でデジタル化を行うより、ictv とヘッドエンドを共同利用することがもっとも経営リスクを軽減できると判断し、ictv と同じく JC-HITS 利用を選択されました。

ictv およびチャンネル YOU の両社では、デジタルサービスの運用に関しては、これまでのアナログ運用と異なり、デジタルならではの新たな業務フローや運用フローが発生することを想定。そのため CA システムについては“自社保有ありき”ではなく、アウトソース可能な部分については効率化を図り、本当に必要な設備のみに投資を行うことで、将来の追加投資リスクや運用負担リスクまで考慮した効率的なデジタル化を実現しました。また、デジタル共同ヘッドエンド構築の際に必ず課題となるそれぞれの自主放送の運用についても、CS 多チャンネルを初めとする両社の共通チャンネルは JC-HITS ネットワークを利用し、両社それぞれの自主放送は ReMUX ネットワークを利用することで、必要最低限の設備投資で効率的な運用が可能になるということも高く評価されました。

JC-HITS サービスは、デジタルならではの高付加価値サービスを効率的に実現できる最適なデジタル化ツールとして、ケーブルテレビ事業者様に幅広く認知、ご理解をいただいております。今後ともケーブルテレビ事業者様と一体となって、ケーブルテレビ業界の一層の発展のため効率的なソリューションを提供してまいりますので、引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

(本件に関するお問い合わせ先)
ジャパン ケーブルキャスト(株) 経営企画部 前田
電話 03-5299-2502
URL: <http://www.cablecast.co.jp>